

平成13年5月7日

ジャバリーニ・アルゼンチン共和国外務・国際通商・宗務大臣の来日について

1. アダルベルト・ロドリゲス・ジャバリーニ・アルゼンチン共和国外務・国際通商・宗務大臣は、随員と共に5月9日（水）から12日（土）まで、外務省賓客として来日する。
2. 同外務大臣は、滞在中、田中眞紀子外務大臣と会談するとともに、両国が対等の立場で開発途上国支援を推進するための日ア・パートナーシップ・プログラム（注）に合意する予定である他、平沼赳夫経済産業大臣等政府関係者との会談等が予定されている。
3. 日ア関係は1998年に修好百周年を迎え、着実な関係緊密化がはかられているが、ジャバリーニ外相の訪日は、1999年12月に発足したデ・ラ・ルア政権下では初の閣僚の訪日であり、強化された両国関係を維持し、かつ一層強化する契機となることが期待される。
4. アルゼンチンは、南米南部共同市場（メルコスール）の中核的存在であり、経済構造改革と自由貿易を推進しており、これに対しわが国の支持を表明することは、わが国の対中南米外交上も有意義である。また、近年、国際的な役割を増大させつつある同国と、これまでの二国間関係を基礎に、幅広く国際的諸問題について協議することも重要であり、将来に向けて両国関係のあり方に関する認識を共有する契機となる。

（注）日ア・パートナーシップ・プログラム

日本とアルゼンチンが対等の立場で連携・協力して、開発途上国に対する経済社会開発支援事業を行うもの。内容は、第三国研修事業、共同研修の実施促進、第三国での共同セミナー開催、専門家派遣など。